

法心和尚像



指定区分	市指定文化財
種別	市有形文化財
名称	法心和尚像
所在地	十和田市大字洞内字前田
所有者	法蓮寺
指定年月日	昭和 40 年 3 月 30 日
概要	<p>高さ約 83cm の木造の倚像（いぞう。椅子に腰かけた姿の像）。法心（ほっしん。法身とも）和尚の由緒は次のように伝えられている。</p> <p>法身は常陸国真壁（現茨城県）に生まれ、俗名を平四郎といい、真壁城主左衛門尉経明に仕えた。しかし、後に出家して宋に渡り、禅行を修めた。日本に戻ってからは、真壁に伝正寺、陸前松島（現宮城県）に瑞巖寺を開いた後、洞内に来て法蓮寺を開く。かつての主君である経明は、法心を慕って洞内に来て弟子となり、道無と号した。この法心和尚像は、法心と道無の師弟が互いに互いの姿を刻みあったものの一方と伝えられている。</p> <p>近年の調査によって、胎内に 1468（応仁 2）年の墨書銘が確認されているため、15 世紀後半の彫刻と考えられ、県内では貴重な中世の肖像彫刻である。</p>